

市長との約束 2024



私は、「宝の都（くに）・大崎」の実現のため、関係部局との連携のもと、特に下記の事項について、目標達成に向けて取り組むことを伊藤康志市長と約束します。

鳴子総合支所長

高島 賢二

約束内容	鳴子温泉郷の観光振興
達成目標	新型コロナウイルス感染症の蔓延により打撃を受けた鳴子温泉郷の観光入込客数について、コロナ禍前（令和元年度）の数値への回復を目指します。
達成度	C 達成目標を下回る ★★☆☆☆
達成状況	令和5年観光統計によると、宮城県内の観光入込客数等は、コロナ禍前（令和元年）の数値をほぼ回復しているところ、大崎圏域の観光入込客数は令和元年比で86.0%、宿泊観光客数は70.1%に留まっていることから、引き続き観光施設等の整備に努め、地域内への誘客に向けた取組について、本庁担当課と共に進めていく。

約束内容	地域イベントの実施による賑わいの創出
達成目標	「全国こけし祭り」を始めとする地域イベントについて通常規模により開催し、コロナ禍前（令和元年度）の地域の賑わいを取り戻します。
達成度	B 概ね目標どおり達成 ★★★☆☆
達成状況	令和6年12月に第2回実行委員会を開催し、第69回の振り返りと来年度第70回の記念開催の内容の検討を始めた。 実行委員会における発案では、お祭り広場の復活、記念グッズの販売、花火の打ち上げ、講演会・座談会の開催などに加えて、開通110周年を迎えるJR鳴子温泉駅とのコラボレーション企画などができないか検討している。

約束内容	地域振興拠点施設の整備検討
達成目標	鳴子温泉鬼首地区の活性化を目的とした「（仮称）鬼首村計画」の具体化に向けて、拠点施設や運営主体のあり方について、地域の方々と共に検討を進めます。
達成度	B 概ね目標どおり達成 ★★★☆☆
達成状況	検討会議推進母体メンバーが約4年間の検討内容を中間報告書としてまとめたものが、令和7年3月に市長あてに提出された。 なお、これまでの検討において、地域振興拠点整備における運営主体や住民の参画方法が整理できていないなど、検討内容を更に煮詰めていく必要があることから、引き続き本庁関係課と共に支援していく。

約束内容	旧鳴子総合支所庁舎の解体及び跡地の利活用
達成目標	旧鳴子総合支所庁舎の解体を行い，その跡地の利活用方法について，地域の方々の意見を聴きながら検討を進めます。
達成度	B 概ね目標どおり達成 ★★★★★
達成状況	当初，跡地内に建設する予定としていた消防ポンプ車車庫については，市に寄附された跡地に隣接する土地に建設することとしたことにより，跡地整備後の景観の保持や有効活用を図ることができた。 土留擁壁工事については緊急自然災害防止対策事業債，庁舎解体工事及び跡地利活用関連事業については地域活性化事業債を活用し，令和7年度に庁舎解体工事及び跡地整備設計業務，令和8年度に跡地整備工事を実施する予定となった。